



## CHAPTER 2

# コマンドライン インターフェイス

この章では、Catalyst 4500 シリーズ スイッチの設定に使用するコマンドライン インターフェイス (CLI) について説明します。この章の主な内容は、次のとおりです。

- 「スイッチ CLI へのアクセス」 (P.2-2)
- 「コマンドラインの処理」 (P.2-3)
- 「ヒストリ置換」 (P.2-3)
- 「Cisco IOS コマンド モードについて」 (P.2-4)
- 「コマンド リストおよび構文の取得」 (P.2-5)
- 「ROMmon の CLI」 (P.2-7)
- 「クラッシュファイル情報のアーカイブ保存」 (P.2-8)
- 「Supervisor Engine 6-E および 6L-E のクラッシュ ダンプの表示」 (P.2-8)



(注)

この章で使用するスイッチ コマンドの構文および使用方法の詳細については、次の URL で『Cisco Catalyst 4500 Series Switch Command Reference』と関連資料を参照してください。

<http://www.cisco.com/en/US/products//hw/switches/ps4324/index.html>

『Catalyst 4500 Series Switch Command Reference』に掲載されていないコマンドについては、より詳細な Cisco IOS ライブラリを参照してください。次の URL で『Cisco IOS Command Reference』と関連資料を参照してください。

<http://www.cisco.com/en/US/products/ps6350/index.html>

次のコマンド変更は、Supervisor Engine 6-E および 6L-E にだけ適用されます。

- **rename** コマンドは bootflash および slot0 の FAT ファイル システムでサポートされています。
- **fsck** コマンドは、slot0 のデバイスでサポートされています。これは、Supervisor Engine 6-E および 6L-E 以外のスーパーバイザ エンジンのファイル システムではサポートされていません。

次の追加のファイル管理コマンドが Supervisor Engine 7-E および Supervisor Engine 7L-E でサポートされます。

- **verify** <filename>
- **delete** <filename>
- **copy** <source\_filename>, <target\_filename>

## スイッチ CLI へのアクセス

ここではスイッチ CLI へのアクセス方法について説明します。

- 「EIA/TIA-232 コンソール インターフェイスを使用して CLI にアクセスする場合」(P.2-2)
- 「Telnet を使用して CLI にアクセスする場合」(P.2-2)

### EIA/TIA-232 コンソール インターフェイスを使用して CLI にアクセスする場合



(注) EIA/TIA-232 は、EIA（米国電子工業会）および TIA（米国電気通信工業会）によって標準として認定されるまでは、Recommended Standard 232（RS-232）と呼ばれていました。

スイッチの初期設定は、EIA/TIA-232 コンソール インターフェイスに接続して行います。コンソール インターフェイスのケーブル接続手順については、『*Catalyst 4500 Series Switch Module Installation Guide*』を参照してください。

コンソール インターフェイスを経由してスイッチにアクセスするには、次の作業を行います。

	コマンド	目的
ステップ 1	Switch> <b>enable</b>	ユーザ EXEC プロンプト (>) から、 <b>enable</b> を入力して、特権 EXEC モード（別名、特権 EXEC モード）に変更します。
ステップ 2	Password: <i>password</i> Switch#	パスワード プロンプトで、システムパスワードを入力します。プロンプト (#) が表示され、特権モードで CLI にアクセスしたことを示します。
ステップ 3	Switch# <b>quit</b>	作業コマンドの実行が終了したあと、セッションを終了します。

EIA/TIA-232 インターフェイスを経由してスイッチにアクセスしたあと、次のように表示されます。

```
Press Return for Console prompt
```

```
Switch> enable
Password:< >
Switch#
```

### Telnet を使用して CLI にアクセスする場合



(注) スイッチに Telnet を接続する前に、スイッチの IP アドレスを設定する必要があります。「物理レイヤ 3 インターフェイスの設定」(P.32-12) を参照してください。

このスイッチは、最大 8 つの Telnet セッションを同時にサポートします。Telnet セッションは、アイドル状態のまま **exec-timeout** コマンドで指定した時間が経過すると、自動的に切断されます。

スイッチに Telnet を接続するには、次の作業を行います。

	コマンド	目的
ステップ1	<code>telnet {hostname   ip_addr}</code>	リモート ホストから <b>telnet</b> コマンドと、アクセスするスイッチの名前または IP アドレスを入力します。
ステップ2	Password: <code>password</code>  Switch#	プロンプトで、CLI のパスワードを入力します。パスワードが設定されていない場合は、 <b>Return</b> を押します。
ステップ3		作業に必要なコマンドを入力します。
ステップ4	Switch# <code>quit</code>	Telnet セッションを終了します。

次に、スイッチとの Telnet セッションを開始する例を示します。

```

unix_host% telnet Switch_1
Trying 172.20.52.40...
Connected to 172.20.52.40.
Escape character is '^]'.
User Access Verification
Password:< >
Switch_1> enable
Password:
Switch_1#
  
```

## コマンドラインの処理

スイッチ コマンドでは、大文字と小文字が区別されません。また、コマンドおよびパラメータは、現在使用可能な他のコマンドまたはパラメータと区別可能な文字数まで省略できます。

最後に入力した 20 個のコマンドは履歴バッファに保存されるので、これらのコマンドをスクロールして、プロンプトに入力または編集できます。表 2-1 に、スイッチ コマンドの入力および編集に使用するキーボード ショートカットを示します。

表 2-1 キーボード ショートカット

キーストローク	結果
<b>Ctrl-B</b> または ← キーを押す <sup>1</sup>	カーソルを 1 文字分だけ後退させます。
<b>Ctrl-F</b> または → キー <sup>1</sup> を押す	カーソルを 1 文字分だけ進めます。
<b>Ctrl+A</b> を押す	コマンドラインの先頭にカーソルを移動します。
<b>Ctrl+E</b> を押す	カーソルをコマンドラインの末尾に移動します。
<b>Esc+B</b> を押す	1 文字分だけカーソルを後退させます。
<b>Esc+F</b> を押す	単語 1 つ分だけカーソルを進めます。

1. 矢印キーは、VT100 などの ANSI 互換端末でのみ有効です。

## ヒストリ置換

履歴バッファには、最後に入力した 20 個のコマンドラインが保存されます。ヒストリ置換によって、再入力せずにコマンドラインにアクセスできます。表 2-2 に、ヒストリ置換コマンドを示します。

表 2-2 ヒストリ置換コマンド

コマンド	目的
Ctrl+P または ↑ キー <sup>1</sup>	直前に入力されたコマンドから始まる、履歴バッファ内のコマンドを呼び出します。キー シーケンスを繰り返すと、古いコマンドが順に呼び出されます。
Ctrl+N または ↓ キー <sup>1</sup>	Ctrl+P または ↑ キーでコマンドを呼び出したあとで、ヒストリ バッファ内のより新しいコマンドに戻ります。キー シーケンスを繰り返すと、新しいコマンドが呼び出されます。
Switch# <b>show history</b>	EXEC モードで、直前に入力したコマンドをいくつか表示します。

1. 矢印キーは、VT100 などの ANSI 互換端末でのみ有効です。

## Cisco IOS コマンド モードについて



(注) Cisco IOS コマンド モードの詳細については、次の URL の『*Cisco IOS Configuration Fundamentals Configuration Guide*』および『*Cisco IOS Configuration Fundamentals Command Reference*』を参照してください。

[http://www.cisco.com/en/US/docs/ios/12\\_2/configfun/configuration/guide/ffun\\_c.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/ios/12_2/configfun/configuration/guide/ffun_c.html)

[http://www.cisco.com/en/US/docs/ios/fundamentals/command/reference/cf\\_book.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/ios/fundamentals/command/reference/cf_book.html)

Cisco IOS ユーザ インターフェイスには、ユーザ EXEC、特権 EXEC (**enable**)、グローバル コンフィギュレーション、インターフェイス、サブインターフェイス、およびプロトコル固有の各モードがあります。現在のモードによって使用できるコマンドが決まります。所定のモードで使用できるコマンドの一覧を表示するには、システム プロンプトに疑問符 (?) を入力します。詳細については、「**コマンド リストおよび構文の取得**」(P.2-5) を参照してください。

スイッチ上でセッションを開始するときには、ユーザ モード (別名、ユーザ EXEC モード) から始めます。EXEC モードで使用できるのは、限定的なコマンド サブセットです。すべてのコマンドにアクセスするには、特権 EXEC モード (別名、特権モード) を開始する必要があります。特権 EXEC モードにアクセスするには、パスワードを入力する必要があります。特権 EXEC モードでは、任意の EXEC コマンドを入力したり、グローバル コンフィギュレーション モードにアクセスしたりすることができます。ほとんどの EXEC コマンドは、現在の設定ステータスを表示する **show** コマンドや、カウンタまたはインターフェイスをリセットする **clear** コマンドなどの 1 回限りのコマンドです。スイッチを再起動したときに、EXEC コマンドは保存されません。

コンフィギュレーション モードでは、実行コンフィギュレーションを変更できます。コンフィギュレーションを保存すると、スイッチを再起動したときにこれらのコマンドが保存されます。まず、グローバル コンフィギュレーション モードを開始する必要があります。グローバル コンフィギュレーション モードから、インターフェイス コンフィギュレーション モード、サブインターフェイス コンフィギュレーション モード、および各種プロトコル固有のモードを開始できます。

スイッチが正しく起動しない場合は、ROMMON と呼ばれる別のモードを使用します。たとえば、スイッチの起動時に有効なシステム イメージがなかった場合、またはコンフィギュレーション ファイルが壊れていた場合、ROMmon モードが開始されることがあります。詳細については、「**ROMmon の CLI**」(P.2-7) を参照してください。

表 2-3 に、よく使用される Cisco IOS モードを示します。

表 2-3 使用頻度の高い Cisco IOS コマンド モード

モード	用途	開始方法	プロンプト
ユーザ EXEC	リモート デバイスへの接続、端末の一時的な設定変更、基本的なテストの実行、システム情報を表示します。	ログイン。	Switch>
特権 EXEC (イネーブル)	動作パラメータの設定。特権コマンドセットには、ユーザ EXEC モードで使用できるコマンドとともに、 <b>configure</b> コマンドが含まれます。 <b>configure</b> コマンドを使用して、別のコマンドモードにアクセスします。	ユーザ EXEC モードから、 <b>enable</b> コマンドとイネーブルパスワード (パスワードが設定されている場合) を入力します。	Switch#
グローバル コンフィギュレーション	システム時間またはスイッチ名など、システム全体に影響する機能を設定します。	特権 EXEC モードから <b>configure terminal</b> コマンドを入力します。	Switch(config)#
インターフェイス コンフィギュレーション	<b>interface</b> コマンドを使用して、10 ギガビット イーサネット インターフェイス、ギガビット イーサネット インターフェイス、ファスト イーサネット インターフェイスのいずれかの操作をイネーブル化または変更します。	グローバル コンフィギュレーション モードから <b>interface type location</b> コマンドを入力します。	Switch(config-if)#
コンソール コンフィギュレーション	直接接続したコンソールまたは仮想端末から、コンソール インターフェイスを設定します。Telnet で使用します。	グローバル コンフィギュレーション モードから <b>line console 0</b> コマンドを入力します。	Switch(config-line)#

Cisco IOS コマンド インタープリタ (別名、EXEC) が、ユーザが入力したコマンドを解釈して実行します。コマンドを入力する際、他のコマンドと区別がつく文字数だけを入力して、コマンドおよびキーワードを省略できます。たとえば、**show** コマンドは **sh**、**configure terminal** コマンドは **config t** に省略できます。

**exit** を入力すると、スイッチは 1 レベル前に戻ります。コンフィギュレーション モードを完全に終了して特権 EXEC モードに戻るには、Ctrl+Z を押します。

## コマンド リストおよび構文の取得

任意のコマンドモードで、疑問符 (?) を入力すると、使用できるコマンドのリストを入手できます。

```
Switch> ?
```

特定の文字の並びで始まるコマンドリストを取得するには、該当する文字の後ろに疑問符 (?) を入力します。疑問符の前にスペースを入れないでください。この形式のヘルプは、ユーザに代わって 1 つの単語を完成させるため、ワード ヘルプと呼ばれます。

キーワードまたは引数のリストを表示するには、キーワードまたは引数の代わりに疑問符を入力します。疑問符の前にスペースを 1 つ入れてください。この形式のヘルプは、すでに入力したコマンド、キーワード、および引数に基づいて、使用できるキーワードまたは引数を表示するので、コマンド構文ヘルプと呼びます。

```
Switch# configure ?
memory          Configure from NV memory
network         Configure from a TFTP network host
overwrite-network Overwrite NV memory from TFTP network host
terminal        Configure from the terminal
<cr>
```

前に入力したコマンドを再表示するには、↑キーまたは Ctrl+P を押します。↑キーを続けて押すと、最後に入力した 20 個のコマンドを表示できます。



### ヒント

コマンドの入力で問題が生じた場合は、システム プロンプトを確認し、疑問符 (?) を入力して使用できるコマンドのリストを表示してください。コマンド モードが間違っているか、間違った構文を使用している可能性があります。

1 つ前のモードに戻るには、**exit** を入力します。どのモードの場合でも、Ctrl+Z を押すか、**end** コマンドを入力すると、ただちに特権 EXEC モードに戻ります。

## スタンバイ スーパーバイザ エンジンの仮想コンソール

Catalyst 4500 シリーズ スイッチには、冗長性を持たせるため、2 つのスーパーバイザ エンジンを搭載できます。スイッチに電源が入ると、スーパーバイザ エンジンの 1 つがアクティブになり、スイッチ オーバーが発生するまでアクティブのままになります。もう 1 つのスーパーバイザ エンジンはスタンバイ モードのままです。

スーパーバイザ エンジンのそれぞれには、自身のコンソール ポートがあります。スタンバイ スーパーバイザ エンジンのコンソール ポート経由でだけ、スタンバイ スーパーバイザ エンジンにアクセスできます。スタンバイ スーパーバイザに対するアクセス、モニタリング、またはデバッグを行うには、スタンバイ コンソールに接続する必要があります。

スタンバイ スーパーバイザ エンジンの仮想コンソールを使用すると、スタンバイ コンソールへの物理的な接続がなくてもアクティブ スーパーバイザ エンジンからスタンバイ コンソールにアクセスできます。EOBC で IPC を使用してスタンバイ スーパーバイザ エンジンと通信し、アクティブ スーパーバイザ エンジン上でスタンバイ コンソールをエミュレートします。一度にアクティブにできるアクティブ スタンバイ コンソール セッションは 1 つだけです。

スタンバイ スーパーバイザ エンジンの仮想コンソールを使用すれば、アクティブ スーパーバイザ エンジンにログインしているユーザは、スタンバイ スーパーバイザ エンジン上で **show** コマンドをリモートで実行し、アクティブ スーパーバイザ エンジンでその結果を表示できます。仮想コンソールは、アクティブ スーパーバイザ エンジンからだけ利用できます。

アクティブ スーパーバイザ エンジンからアクティブ スーパーバイザ エンジンの **attach module** コマンド、**session module** コマンド、または **remote login** コマンドを使用してスタンバイ 仮想コンソールにアクセスできます。これらのコマンドを実行してスタンバイ コンソールにアクセスするには、特権 EXEC モード (レベル 15) を開始している必要があります。

スタンバイ 仮想コンソールにアクセスすると、端末プロンプトは自動的に **hostname-standby-console#** に変わります。**hostname** はスイッチに設定した名前です。仮想コンソールを終了すると、このプロンプトは元のプロンプトに戻ります。

**exit** コマンドまたは **quit** コマンドを入力すると、仮想コンソールは終了します。ログインしたアクティブ スーパーバイザ エンジンの端末の無活動時間が設定されたアイドル時間を超えると、アクティブ スーパーバイザ エンジンの端末から自動的にログアウトします。この場合、仮想コンソールセッションも終了します。また、スタンバイが再起動すると、仮想コンソールセッションも自動的に終了します。スタンバイが起動したあとは、別の仮想コンソールセッションを作成する必要があります。

仮想コンソールを使用してスタンバイ スーパーバイザ エンジンにログインするには、次のコマンドを入力します。

```
Switch# session module 2
Connecting to standby virtual console
Type "exit" or "quit" to end this session
Switch-standby-console# exit
```

スタンバイ コンソールがイネーブルでない場合、次のメッセージが表示されます。

```
Switch-standby-console#
Standby console disabled.
Valid commands are: exit, logout
```

仮想セッションからスタンバイ コンソールに入ることは、RPR で N/A になります。

```
Switch# session module 2
IPC server port name IFConsoleServer:2 not registered on standby.
Secondary cannot be accessed by virtual console
```



(注)

スタンバイ仮想コンソールには、コマンド履歴、コマンド補完、コマンドヘルプ、部分コマンドキーワードなど、スーパーバイザ コンソールから利用できる標準的な機能が備わっています。

次の制限事項がスタンバイ仮想コンソールに適用されます。

- 仮想コンソールで実行されたコマンドは、すべて最後まで実行されます。**auto-more** 機能はありません。したがって、**terminal length 0** コマンドの実行時と同じように機能します。また、対話形式ではありません。コマンドの実行は、アクティブ スーパーバイザ エンジン上でキー シーケンスを入力しても中断できません。コマンドによって大量の出力が発生した場合、仮想コンソールはスーパーバイザ画面に出力を表示します。
- 仮想コンソールは対話形式ではありません。仮想コンソールはコマンドのインタラクティブ性を検出しないため、ユーザとの対話を必要とするコマンドが入力されると、RPC タイマーがコマンドを中断するまで仮想コンソールは待機します。
- 仮想コンソール タイマーは 60 秒に設定されています。60 秒後に仮想コンソールはプロンプトに戻ります。この間、キーボードからコマンドを中断できません。操作を続ける前に、タイマーが期限切れになるのを待つ必要があります。
- 仮想コンソールを使用して、スタンバイ スーパーバイザ エンジン上で表示されているデバッグおよび Syslog メッセージを表示することはできません。仮想コンソールは、仮想コンソールから実行されたコマンドの出力だけを表示します。実際のスタンバイ コンソールで表示される別の情報は、仮想コンソールでは表示できません。

## ROMmon の CLI

ROMmon は起動時またはリセット時、あるいは重大な例外エラーが発生したときに関与する ROM ベースのプログラムです。スイッチで ROMmon モードが開始されるのは、スイッチが有効なソフトウェア イメージを見つけることができなかった場合、NVRAM 内の設定が壊れていた場合、またはコ

ンフィギュレーション レジスタが ROMmon モードを開始するように設定されていた場合です。ROMmon モードでは、フラッシュ メモリ、ネットワーク サーバ ファイル、またはブートフラッシュからソフトウェア イメージを手動でロードできます。

また、スイッチを再起動して、起動時の最初の 5 秒間に Ctrl+C を押しても、ROMmon モードを開始できます。



(注) コンフィギュレーション レジスタの設定で、Ctrl+C がオフに設定されている場合でも、スイッチの再起動後 60 秒間は Ctrl+C を使用できます。

ROMmon モードを開始すると、プロンプトが「rommon 1>」に変わります。? コマンドを使用して、利用可能な ROMMON コマンドを確認します。

ROMmon コマンドの詳細については、『Cisco IOS Command Reference』を参照してください。

## クラッシュファイル情報のアーカイブ保存

この機能では、crashinfo ファイルをアーカイブすることができます（そうしなければ別のシステム リセットが最初にブートフラッシュに発生すると上書きされます）。アーカイブされた crashinfo データにアクセスすることは、トラブルシューティングの大きな参考になります。

crashinfo ファイルをアーカイブ保存するには、次の作業を行います。

	コマンド	目的
ステップ1	Switch# <b>configure terminal</b>	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ2	Switch(config)# <b>exception crashinfo file bootflash: name</b>	ブートフラッシュに crashinfo ファイルをアーカイブ保存できるようにする。ファイルは、日付と連結した指定された名前 <i>name</i> のブートフラッシュに保存されます。
ステップ3	Switch(config)# <b>end</b>	特権 EXEC モードに戻ります。
ステップ4	Switch# <b>show running-config</b>	入力を確認します。
ステップ5	Switch# <b>copy running-config startup-config</b>	(任意) コンフィギュレーション ファイルに設定を保存します。

## Supervisor Engine 6-E および 6L-E のクラッシュ ダンプの表示

クラッシュ ダンプは次の情報を提供します。

- malloc または free トレース
- チャックの alloc/free トレース
- プロセス ブロック ダンプ
- レジスタ メモリ ダンプ
- 現在の proc スタックの部分的なデコード
- 割り込みレベルのスタック



- 最新の 128 メモリ ブロック ダンプ

クラッシュ ダンプを表示するには、次の手順を実行します。

```
Switch# show platform crashdump
```

```
Current Time: 9/6/2010 15:47:21
```

```
Last Power Failure: 09/06/2010 15:03:28
```

```
Last Reload Status: 00002000
```

```
Last Software Reset State: 00000000
```

```
Crashdump version: 1
```

```
Last crash: 09/06/2010 06:21:58
```

```
Build: 12.2(20100723:074204) ENTSSERVICES
```

```
buildversion addr: 14847D24
```

```
==== Context =====
```

```
pc=10999E70 lr=10999E34 msr=02029230 vector=00000600  
cr=20004022 ctr=108EC3EC xer=00000000  
r0=10999E34 r1=2421F930 r2=0000001E r3=234BBFD8  
r4=0000000A r5=00000000 r6=2421F918 r7=00000000  
r8=00000000 r9=00000000 r10=14850000 r11=234BBFD4  
r12=EB93A100 r13=B4E9F3F3 r14=10CD0984 r15=00000000  
r16=156CA504 r17=156CA504 r18=00000001 r19=00000000  
r20=00000000 r21=00000000 r22=00000000 r23=00000000  
r24=00000000 r25=00000000 r26=00000000 r27=00000000  
r28=15870804 r29=00000000 r30=14850000 r31=00000000  
dec=00083695 tbu=00000002 tbl=2A7D42DA  
dar=80210020 dsisr=80210020 hid0=80004000
```

```
Traceback: 10999E70 11B430B8 10C84444 10C83338 11BE0C5C 10C93874 10C93D78 10C94140  
10C992EC 10CD155C 1099BCFC 10992CEC
```

```
==== Stack frames =====
```

```
Frame 1: pc=11B430B8 stack=2421F940  
Frame 2: pc=10C84444 stack=2421F948  
Frame 3: pc=10C83338 stack=2421F9B0  
Frame 4: pc=11BE0C5C stack=2421F9E8  
Frame 5: pc=10C93874 stack=2421FA00  
Frame 6: pc=10C93D78 stack=2421FA18  
Frame 7: pc=10C94140 stack=2421FA48  
Frame 8: pc=10C992EC stack=2421FA58  
Frame 9: pc=10CD155C stack=2421FA70  
Frame 10: pc=1099BCFC stack=2421FB08  
Frame 11: pc=10992CEC stack=2421FB10
```

```
==== Pushed stack =====
```

```
2421F930: 2421F940 10999E34 2421F940 15868B74  
2421F940: 2421F948 11B430B8 2421F9B0 10C84444  
2421F950: 2421F978 00000000 00000000 00000000  
2421F960: 00000000 2421F9C0 00000000 240CC3C8  
2421F970: 2421F990 11AE7394 00000006 FFFFFFFF  
2421F980: 00000000 00000000 00000000 14BE0000  
2421F990: 00000000 00000000 00000000 00000000  
2421F9A0: 00000001 00000000 15868B74 15868B74  
2421F9B0: 2421F9E8 10C83338 00000000 00000000
```

## Supervisor Engine 6-E および 6L-E のクラッシュ ダンプの表示

```

2421F9C0: 00000071 15868B74 156CA328 13794ACD
2421F9D0: 00000000 00000001 00000000 1511A790
2421F9E0: 2366B680 15868B74 2421FA00 11BE0C5C
2421F9F0: 156CA328 156CA328 2366B680 15868B74
2421FA00: 2421FA18 10C93874 2421FA20 00000000
2421FA10: 00000000 2366B628 2421FA48 10C93D78
2421FA20: 2421FA58 10C95370 00000000 11BB0A98
2421FA30: 00000000 00000000 15868B74 00000000
2421FA40: 00000000 15868B74 2421FA58 10C94140
2421FA50: 00000003 15868B74 2421FA70 10C992EC
2421FA60: 00000000 00000000 00000000 156CA328
2421FA70: 2421FB08 10CD155C 0DFFFFFF FFFFFFFF
2421FA80: FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF
2421FA90: FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF
2421FAA0: FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF
2421FAB0: 00000001 FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF
2421FAC0: FFFFFFFF 00000000 00000000 00000000
2421FAD0: 00000000 00000000 00000000 00000000
2421FAE0: 00000000 00000000 00000000 00000000
2421FAF0: 00000000 00000000 00000000 00000000
2421FB00: 00000000 00000000 2421FB10 1099BCFC
2421FB10: 00000000 10992CEC FFFFFFFF

```

```

===== Popped stack =====
2421F730: E8000800 151B1AB0 2421F748 132BBFA8
2421F740: 000E8000 151B1AB0 2421F760 132BC0D0
2421F750: 000E8000 00009B0A E8000800 151B1AB0
2421F760: 2421F778 132BC2A0 E8000800 00009B0A
2421F770: 00000800 153B1B7C 2421F790 123FAF28
2421F780: 2421F790 00000000 0000000A 151B17E4
2421F790: 2421F798 123FB2BC 2421F7B0 11C12A90
2421F7A0: 00009B0A 11C12880 0000000A 146C0000
2421F7B0: 2421F7C0 11BA7384 00000000 146B0000
2421F7C0: 2421F7D0 11AD3144 0000000A 0000000A
2421F7D0: 2421F7D8 11C10390 2421F7E0 11BB0424
2421F7E0: 2421F7F0 11BB04E4 2433FCD4 FFFFFFFE
2421F7F0: 2421F800 107CF880 7FFFFFFF FFFFFFFE
2421F800: 2421F8A8 107CCDF0 20637261 73686475
2421F810: 6D700000 00000000 2421F840 00000000
2421F820: 2421F8B0 00000000 0000004A 002E8A00
2421F830: 39760000 0000004A 00000000 2433FCF0
2421F840: 2421F848 2433FCF0 00000000 11A12ACC
2421F850: 13CD617C 10C7DAAC 00000000 2421F8AC
2421F860: 10CD0984 00000000 156CA504 156CA504
2421F870: 00000001 00000000 00000000 00000000
2421F880: 00000000 00000000 00000000 00000000
2421F890: 00000000 00000000 15870804 00000000
2421F8A0: 14850000 FFFFFFFE 2421F930 107CFC7C
2421F8B0: 2421F8C8 14BB1760 00000002 00000000
2421F8C0: 2421F930 14620E40 24330AB4 0000004A
2421F8D0: 00000000 00000000 2421F8E8 10C1FD9C
2421F8E0: 2421F8F8 00000000 00000000 00000000
2421F8F0: 15868B74 15868B74 2421F910 117CF5C0
2421F900: 2421F968 1586A45C 2421F920 15868B74
2421F910: 2421F918 00000000 14850000 00000000
2421F920: 2421F930 10999978 2421F930 00000000

```

```

===== Malloc and Free Traces=====

```

```

MallocFree Trace: ixmallocfree=0x2C ptr=0x151A40D8
151A3F78: 2366B628 11AF1144 2366B628 11AF1348 2366B66C 60000024 2447A940 11AF1350
151A3F98: 2447A940 30000018 2447A940 11AF1110 2366B628 4000000E 2366B628 11AF1144

```

```

151A3FB8: 2366B628 11AF1348 2366B66C 60000024 2447A940 11AF1350 2447A940 30000018
151A3FD8: 2447A940 11AF1110 2366B628 4000000E 2366B628 11AF1144 2366B628 11AF1348
151A3FF8: 2366B66C 60000024 2447A940 11AF1350 2447A940 30000018 2447A940 11AF1110
151A4018: 2366B628 4000000E 2366B628 11AF1144 2366B628 11AF1348 2366B66C 60000024
151A4038: 2447A940 11AF1350 22FAC944 119F6CC0 22FACF4C 6000005E 2433FCD4 40000046
151A4058: 2433FCD4 11A31DD4 2433FCD4 11A32370 2433FD88 6000005E 2447A940 30000018
151A4078: 2447A940 107D7294 2366B628 40000018 2366B628 10C9533C 2366B680 3000001A
151A4098: 2366B680 10C9536C 2433FCD4 4000000E 2433FCD4 10C7DAAC 2433FCD4 10C7DB90
151A40B8: 2433FD18 60000096 2433FCD4 4000000E 2433FCD4 10E28604 2433FCD4 10E287BC
151A40D8: 2433FD18 60000096 2366B66C 60000024 2447A940 11AF1350 2447A940 30000018
151A40F8: 2447A940 11AF1110 2366B628 4000000E 2366B628 11AF1144 2366B628 11AF1348
151A4118: 2366B66C 60000024 2447A940 11AF1350 2447A940 30000018 2447A940 11AF1110
151A4138: 2366B628 4000000E 2366B628 11AF1144 2366B628 11AF1348 2366B66C 60000024
151A4158: 2447A940 11AF1350 2447A940 30000018 2447A940 11AF1110 2366B628 4000000E

```

=====  
===== Chunk Malloc and Chunk Free Traces =====

```

151A3B78: 238928B8 11A32D70 11A34618 238928B8 11A3187C 11A34618
151A3B60: 15866F0C 10C7FF20 10C7F104 1586FBF0 10C7FE38 10C7F17C
151A3B48: 1586D760 10C7FE38 10C7F17C 1586FF98 10C7FE38 10C7F17C

```

```

151A3B30: 1586D760 10C84B24 10C7F17C 1586D760 10C7FE38 10C7F17C
151A3B18: 1586FF98 10C84B24 10C7F17C 1586FF98 10C7FE38 10C7F17C
151A3B00: 1586D760 10C84B24 10C7F17C 1586D760 10C7FE38 10C7F17C
151A3AE8: 1586FF98 10C84B24 10C7F17C 1586FF98 10C7FE38 10C7F17C
151A3AD0: 1586D760 10C84B24 10C7F17C 1586FBF0 10C84B24 10C7F17C
151A3AB8: 1586FBF0 10C7FE38 10C7F17C 1586D760 10C7FE38 10C7F17C
151A3AA0: 1586FBF0 10C84B24 10C7F17C 1586FBF0 10C7FE38 10C7F17C
151A3A88: 15870340 10C7FE38 10C7F17C 1586FBF0 10C84B24 10C7F17C
151A3A70: 1586D760 10C84B24 10C7F17C 1586D760 10C7FE38 10C7F17C
151A3A58: 1586FBF0 10C7FE38 10C7F17C 1586D760 10C84B24 10C7F17C
151A3A40: 1586D760 10C7FE38 10C7F17C 1586FBF0 10C84B24 10C7F17C
151A3A28: 1586FBF0 10C7FE38 10C7F17C 1586D760 10C84B24 10C7F17C
151A3A10: 15870340 10C84B24 10C7F17C 15870340 10C7FE38 10C7F17C
151A39F8: 1586D760 10C7FE38 10C7F17C 15870340 10C84B24 10C7F17C
151A39E0: 15870340 10C7FE38 10C7F17C 1586D760 10C84B24 10C7F17C
151A39C8: 1586D760 10C7FE38 10C7F17C 15870340 10C84B24 10C7F17C
151A39B0: 15870340 10C7FE38 10C7F17C 1586D760 10C84B24 10C7F17C
151A3998: 1586D760 10C7FE38 10C7F17C 15870340 10C84B24 10C7F17C
151A3980: 15870340 10C7FE38 10C7F17C 1586D760 10C84B24 10C7F17C
151A3968: 1586D760 10C7FE38 10C7F17C 15870340 10C84B24 10C7F17C
151A3950: 15870340 10C7FE38 10C7F17C 1586D3B8 10C7FE38 10C7F17C
151A3938: 15870340 10C84B24 10C7F17C 1586D760 10C84B24 10C7F17C
151A3920: 1586D760 10C7FE38 10C7F17C
151A3C14: 15870340 10C7FE38 10C7F17C 1586D760 10C84B24 10C7F17C
151A3BFC: 1586D3B8 10C84B24 10C7F17C 1586D3B8 10C7FE38 10C7F17C
151A3BE4: 1586D760 10C7FE38 10C7F17C 1586D3B8 10C84B24 10C7F17C
151A3BCC: 15870340 10C84B24 10C7F17C 15870340 10C7FE38 10C7F17C
151A3BB4: 1586D3B8 10C7FE38 10C7F17C 15870340 10C84B24 10C7F17C
151A3B9C: 1586D760 10C84B24 10C7F17C 1586D760 10C7FE38 10C7F17C
151A3B84: 15870340 10C7FE38 10C7F17C

```

=====  
===== Process Level Info =====

---- Current Process Block (at 0x24330AB4) ----

```

24330A8C: AB1234CD 710000 24330AB4 13DF55F0 11A2F280 24330D48 24330A5C 8000014A
24330AAC: 1 10530DC4 242110BC 1582AAAC 156CA328 10CD0984 0 156CA504
24330ACC: 156CA504 6 FFFFFFFF 1 2421FA78 13D2A3E0 FF 0
24330AEC: 1 13D2A3E0 2421FA78 24330AB4 14BE0000 156CA328 107D4240 40004024
24330B0C: 11A3C6A4 2029230 0 0 0 0 0 10100
24330B2C: 0 1000000 0 0 0 71 0 0
24330B4C: 0 25610 2350 320BC 0 0 0 0

```

## Supervisor Engine 6-E および 6L-E のクラッシュ ダンプの表示

```

24330B6C:      0    2035F      0 156CA328      0    2210B      0    2210B
24330B8C:      0         13      0 13D42FC4      4         1      15E         1
24330BAC:      0         0      0    EA60      EA60 156CA328      0         0
24330BCC:      0         0      0         0      0 24330AB4 151A5708      0         0
24330BEC:      0         0 149A2408      0         0      0 420A         0
24330C0C:      0         0 24330BEC      0         0      0 4290 24330AB4
24330C2C:      0         0      0         0 24330BEC 24330AB4      0         0
24330C4C:     142D2      0         0      0 24330BEC 24330AB4      0         0
24330C6C:     242D2      0         0      0         0      0 24325EB4
24330C8C:      0         0      0         0      0         0      0         0
24330CAC:      0 24325F14 24330C9C 24325EBC      0 151A6450      0         0
24330CCC:      0         0      0 FFFFFFFF FFFFFFFF      0         0
24330CEC:      0         0      0         0      0 23EFC15C      0         0
24330D0C:     32         0      0         0      0         0      0         0
24330D2C:      0         0      0         0 BEEFCAFE      0

```

---- Partial decode of process block ----

```

Pid 113: Process "Exec" stack 0x242110BC savedsp 0x1582AAAC
Flags: analyze crashblock on_old_queue
Status      0x00000000 Orig_ra  0x00000000 Routine      0x00000000 Signal 0
Caller_pc   0x00000000 Callee_pc 0x00000000 Dbg_events 0x00000000 State 0
Totmalloc  153104      Totfree   9040      Totgetbuf  0
Totretbuf  0          Edisms    0x0        Eparm      0x156CA328
Elapsed    0x0        Ncalls    0x13       Ngiveups   0x0
Priority_q  4          Ticks_5s  1          Cpu_5sec   0          Cpu_lmin   0
Cpu_5min   0          Stacksize 0xEA60     Lowstack   0xEA60
Ttyptr     0x156CA328 Mem_holding 0x320BC    Thrash_count 0
Wakeup_reasons 0x0FFFFFFF Default_wakeup_reasons 0x0FFFFFFF
Direct_wakeup_major 0x00000000 Direct_wakeup_minor 0x00000000

```

```

Regs R14-R31, CR, PC, MSR at last suspend; R3 from proc creation, PC unused:
R3 : 156CA328 R14: 10CD0984 R15: 00000000 R16: 156CA504 R17: 156CA504
R18: 00000006 R19: FFFFFFFF R20: 00000001 R21: 2421FA78 R22: 13D2A3E0
R23: 000000FF R24: 00000000 R25: 00000001 R26: 13D2A3E0 R27: 2421FA78
R28: 24330AB4 R29: 14BE0000 R30: 156CA328 R31: 107D4240 CR: 40004024
PC : 11A3C6A4 MSR: 02029230

```

---- Current Process Stack (0x714 bytes used, out of 0xEA60 available) ----

Current SP = 0x2421F930, saved SP = 0x1582AAAC

```

2421F71C:      1A 2421F918      0 FFFFFFFF 151B1AB0 E8000800 151B1AB0 2421F748
2421F73C:    132BBFA8      E8000 151B1AB0 2421F760 132BC0D0      E8000      9B0A E8000800
2421F75C:    151B1AB0 2421F778 132BC2A0 E8000800      9B0A      800 153B1B7C 2421F790
2421F77C:    123FAF28 2421F790      0          A 151B17E4 2421F798 123FB2BC 2421F7B0
2421F79C:    11C12A90      9B0A 11C12880      A 146C0000 2421F7C0 11BA7384      0
2421F7BC:    146B0000 2421F7D0 11AD3144      A          A 2421F7D8 11C10390 2421F7E0
2421F7DC:    11BB0424 2421F7F0 11BB04E4 2433FCD4 FFFFFFFE 2421F800 107CF880 7FFFFFFF
2421F7FC:    FFFFFFFE 2421F8A8 107CCDF0 20637261 73686475 6D700000      0 2421F840
2421F81C:      0 2421F8B0      0          4A      2E8A00 39760000      4A      0
2421F83C:    2433FCF0 2421F848 2433FCF0      0 11A12ACC 13CD617C 10C7DAAC      0
2421F85C:    2421F8AC 10CD0984      0 156CA504 156CA504      1         0      0
2421F87C:      0         0      0         0      0         0      0 15870804
2421F89C:      0 14850000 FFFFFFFE 2421F930 107CFC7C 2421F8C8 14BB1760      2
2421F8BC:      0 2421F930 14620E40 24330AB4      4A         0      0 2421F8E8
2421F8DC:    10C1FD9C 2421F8F8      0         0      0 15868B74 15868B74 2421F910
2421F8FC:    117CF5C0 2421F968 1586A45C 2421F920 15868B74 2421F918      0 14850000
2421F91C:      0 2421F930 10999978 2421F930      0 2421F940 10999E34 2421F940
2421F93C:    15868B74 2421F948 11B430B8 2421F9B0 10C84444 2421F978      0         0
2421F95C:      0         0 2421F9C0      0 240CC3C8 2421F990 11AE7394      6
2421F97C:    FFFFFFFF      0         0      0 14BE0000      0         0      0
2421F99C:      0         1         0 15868B74 15868B74 2421F9E8 10C83338      0
2421F9BC:      0         71 15868B74 156CA328 13794ACD      0         1         0

```

```

2421F9DC: 1511A790 2366B680 15868B74 2421FA00 11BE0C5C 156CA328 156CA328 2366B680
2421F9FC: 15868B74 2421FA18 10C93874 2421FA20 0 0 2366B628 2421FA48
2421FA1C: 10C93D78 2421FA58 10C95370 0 11BB0A98 0 0 15868B74
2421FA3C: 0 0 15868B74 2421FA58 10C94140 3 15868B74 2421FA70
2421FA5C: 10C992EC 0 0 0 0 156CA328 2421FB08 10CD155C DFFFFFFF
2421FA7C: FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF
2421FA9C: FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF
2421FABC: FFFFFFFF FFFFFFFF 0 0 0 0 0 0 0
2421FADC: 0 0 0 0 0 0 0 0 0
2421FAFC: 0 0 0 2421FB10 1099BCFC 0 10992CEC FFFFFFFF
    
```

==== Interrupt Level Stack Dump =====

---- Level 1 Interrupt stack (0x0 bytes used, out of 0x2328 available) ----

```

intstacks[1]: base 0x156DB3D8 stack 0x156DD6F8 routine 0x0 count 0x0
              size 0x2328 low 0x2328 desc 0x156BE7D0
    
```

---- Level 2 Interrupt stack (0x3F8 bytes used, out of 0x2328 available) ----

```

intstacks[2]: base 0x156D90B0 stack 0x156DB3D0 routine 0x0 count 0x2
              size 0x2328 low 0x2328 desc 0x156C0C78
    
```

```

156DAFE0: 156DAFE8 FFFFFFFF 156DB020 119E1374 0 B6B8 0 B6F4
156DB000: 156DB020 16035650 156DB0E0 0 2DAE 4 1 16031964
156DB020: 156DB028 119E15BC 156DB050 119E1670 0 B6B8 0 1E3
156DB040: 2DAE 1603191C 156DB050 1603190C 156DB0D0 11BB458C FFFFFFFF FFFFFFFF
156DB060: 0 1E3 16002438 1603191C 1CCB58E0 64 0 2DAE
156DB080: 0 B6B8 FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF 137B49A8 1603560C 160355D0
156DB0A0: 14BABC00 B9DE8DC0 156DB128 0 1C703D84 17F1C788 0 11
156DB0C0: 0 156DB138 160355D0 156DB128 156DB100 11EBBCDC 0 11
156DB0E0: 1CCB58E0 64 156DB110 2DAE 14BAC400 156DB220 17B7B610 0
156DB100: 90040008 151B1AB0 0 151B1AB0 156DB120 132BBFA8 90040 122C3E40
156DB120: 156DB138 132BC0D0 1CCB58E0 0 0 151B1AB0 156DB150 132BCC08
156DB140: 0 156DB240 156DB158 10 156DB1C0 15 156DB170 129ADCC4
156DB160: 156DB170 11 156DB1E0 16 156DB3B0 122BF51C FFFFFFFF FFFFFFFF
156DB180: FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF
156DB1A0: FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF
156DB1C0: 0 2000000 0 7FFFFFFF 0 0 FFFFFFFF FFFFFFFF
156DB1E0: 0 20001FF 0 7FFFFFFF 0 0 FFFFFFFF FFFFFFFF
156DB200: 10100 1F4 1F4 77359400 3 2 16 3D
156DB220: 294 294 294 0 0 2 2 1
156DB240: 80000 0 0 FF 0 0 FFFFFFFF FFFFFFFF
156DB260: 0 1EB 0 1FF 0 0 FFFFFFFF FFFFFFFF
156DB280: FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF
156DB2A0: FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF
156DB2C0: FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF
156DB2E0: 0 FFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF
156DB300: FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF
156DB320: FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF
156DB340: FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF
156DB360: 15FFFFFF 10 10 10 10 FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF
156DB380: FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF 0 14BE0000 146CF310
156DB3A0: 146D0000 14620E80 4 1C7061FC 156DB3C0 132DE01C FFFFFFFF 2
156DB3C0: 156DB3C8 132DDD84 14BAE470 11C0DCD0 FFFFFFFF FFFFFFFF
    
```

---- Level 3 Interrupt stack (0x350 bytes used, out of 0x2328 available) ----

```

intstacks[3]: base 0x156D6D88 stack 0x156D90A8 routine 0x0 count 0x995
              size 0x2328 low 0x2328 desc 0x156BE924
    
```

```

156D8D60: 156D8D68 FFFFFFFF 156D8DA0 119E1374 0 21EEB 0 21EE4
    
```

## Supervisor Engine 6-E および 6L-E のクラッシュ ダンプの表示

```

156D8D80:      0      1      1 160BA724      0      0 156D8DA0 160BA85C
156D8DA0: 156D8DD8 119E1E40 156D8DB0      1 1603560C 156D8F38 160029D8 16035650
156D8DC0:      1      4      0    22030 156D8DD8 160A5670 156D8DF8 119E1F74
156D8DE0: 156D8DF8      4 156D8E08 160BA85C 156D8E08      4      4 160BA85C
156D8E00: 156D8E08 160BA724 156D8E38 11A312A8 156D8E30 119DF688 156D8E30 16035650
156D8E20:      0 16002CA8 156D8E50 16002F78 156D8E50 119DFBD8      0    8E12
156D8E40:      0 156D8F38 156D8E50 1603148C 156D8ED0 11BB458C 156D8E60 1603148C
156D8E60:      0    8E12 16002CA8 156D8F38 1C6FF080      64      0      0
156D8E80: 156D8E90 156D8EE0 156D8E90 1C6FEF9C 156D8ED0 13B40000 14370000 14BC97D0
156D8EA0: 156D8F28 2980A1B9 156D8ED0 84D7317      0      0 1C6FEFAC      0
156D8EC0: 84D7317 1C6FEED4      0 153B1DA4 156D8ED8 11EBBCDC 156D8EE0 11C0C254
156D8EE0: 156D8EF8 132F05E0      2 2980A460 156D8EF8 84D7317 156D8F00 132EFB10
156D8F00: 156D8F18 132B19FC 84D7317 1C6FEED4      0 84D7317 156D8F90 132B1EEC
156D8F20:      0 84D6D76 1C6FF080      64      0      0      0 8E12
156D8F40: 16002CA8 156D8F38 14BE0000 13FD0000 138A0000 160BA4B0 160BA4B0 160BA4B0
156D8F60: 14BABC00 2980A1B9 137C0000 13F50000 14BAC400      0 14BE0000      0
156D8F80: 84D7317 1C6FEED4      0 84D7317 156D8FA8 132B2448 156D8FA0 156D8FB8
156D8FA0: 156D8FA8 11BBE798 156D9030 132B0C9C 156D8FB8 11BBE798      0    7530
156D8FC0:      0    2EE0      0      1 FFFFFFFF FFFFFFFF 4B354370 754D616E
156D8FE0: 20526576 69657700      0      0      0      0      0      0
156D9000:      0      0 1ADBEEF 1896AD90 156D9030      0      0 146CF310
156D9020: 146D0000 14620EAO      D 1893E4BC 156D9038 134D23A4 156D9058 12023A6C
156D9040:      0 1B1DDC40 156D9050      40      D 1B1DDC40 156D9080 11ED3534
156D9060:      40 132D6244      0 14620EAO 146D0000 14620EAO      D 22D85610
156D9080: 156D9088 133C43C8 156D9098 132DE01C FFFFFFFF      3 156D90A0 132DDE4C
156D90A0: 14BAE470 11C0DCD0 FFFFFFFF FFFFFFFF

```

---- Level 4 Interrupt stack (0x348 bytes used, out of 0x2328 available) ----

```

intstacks[4]: base 0x156D4A60 stack 0x156D6D80 routine 0x0      count 0x8376
              size 0x2328      low 0x2328      desc 0x156BEA78

156D6A40: 156D6A48 FFFFFFFF 156D6A80 119E1374      0    21E4B      0    21E48
156D6A60: FFFFFFFF      1      1 160BA724      0      0 156D6A80 160BA85C
156D6A80: 156D6AB8 119E1E40 FFFFFFFF      1 1603560C 156D6C18 16002938 16035650
156D6AA0:      1      4      0    21F90 156D6AB8 160A5670 156D6AD8 119E1F74
156D6AC0: 156D6AD8      4      4 160BA85C 156D6AD8 160BA724 156D6B08 11A312A8
156D6AE0: 156D6B00 119DF688 156D6BC0 16035650      0 156C504C      1 160BA724
156D6B00: 156D6B08 156C8B5C 156D6B30 11A31B54 156D6B30 119DFBD8      0    8DCE
156D6B20:      0 1603129C 156D6B30 1603128C 156D6BB0 11BB458C FFFFFFFF FFFFFFFF
156D6B40:      0    8DCE 160028E8 1603129C 1BB124AC      64      0      0
156D6B60:      0    1A68C FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF 13B40000 14370000 14BC97D0
156D6B80: 156D6C08 28E47C74 156D6BB0 84B1B7D      0      0 1BB123D8      0
156D6BA0: 84B1B7D 1BB12300      0 153B1DA4 156D6BB8 11EBBCDC 156D6BC0 11C0C254
156D6BC0: 156D6BD8 132F05E0      2 28E47EC0 156D6BD8 84B1B7D 156D6BE0 132EFB10
156D6BE0: 156D6BF8 132B19FC 84B1B7D 1BB12300      0 84B1B7D 156D6C70 132B1EEC
156D6C00: FFFFFFFF FFFFFFFF 1BB124AC      64      0      0      0 8DCE
156D6C20: 160028E8 1603129C 14BE0000 160BA4D8 13860000 13FA0000 160BA428 160BA4B0
156D6C40: 14BABC00 28E47C74 137C0000 13F50000 14BAC400      0 14BE0000      0
156D6C60: 84B1B7D 1BB12300      0 84B1B7D 156D6C88 132B2448 156D6C80 156D6C98
156D6C80: 156D6C88 11BBE798 156D6D10 132B0C9C      A0000 14800000      0    1770
156D6CA0:      0    BB8 156D6CD0      1 14BAC400      0 14BE0000 146CF310
156D6CC0: 146D0000 151B1AB0 156D6CF0 151B1AB0 156D6CE0      0 156D6D10 146CF310
156D6CE0: 2029230 14620EC0 156D6D20 153B1DA4 156D6CF8 151B1AB0 3012000 11C0C254
156D6D00: 156D6D18 132F05E0 3012020 153B1C8C 156D6D30 11C0FE70 156D6D20 153B1C8C
156D6D20: 156D6D40 11C0FE28 156D6D38 153B1C8C 3012040 153B1C8C 156D6D48 11C100CC
156D6D40: 156D6D50 11C10348 14BE0000 146C62B4 156D6D78 11BB0A10 FFFFFFF 1CCAFCB8
156D6D60: 156D6D70 146CF310 146D0000 14620EC0      2A      4 14BAE470 11C0DCD0
156D6D80: FFFFFFFF FFFFFFFF

```

---- Level 5 Interrupt stack (0x170 bytes used, out of 0x2328 available) ----

```

intstacks[5]: base 0x156D2738 stack 0x156D4A58 routine 0x0      count 0x8843
              size 0x2328      low 0x2328      desc 0x156BEBCC

```

```

156D48F0: 156D4918 FFFFFFFF 14BAC400          0 14BE0000 13B50000          0 151B1AB0
156D4910: A0000060 151B1AB0 156D4928 132BBFA8          A0000 151B1AB0 156D4940 132BC0D0
156D4930:          A0000 14C00000 A0000060 151B1AB0 156D4958 132BC42C A0000060 14C00000
156D4950:           60 189A84E0 156D4970 12405FD8 156D4970          1          1 1B1AD9E0
156D4970: 156D4978 124067F8 156D4998 11CB7020 156D49A8 14C00000 FFFFFFFF          0
156D4990: 14BE0000 13B50000          2 1B5A1068 2029230 153B1DA4 156D49D0 1BB11BE0
156D49B0: 156D49B8          0 14BE0000 13B50000          3 14380000 1B1AD9E0 153B1DA4
156D49D0: 156D49D8 132EFB10 156D49E0 11C0C254 156D49F8 132F05E0          2 2A7A9FE0
156D49F0: 2029230 153B1DA4 156D4A00 132EFB10 156D4A18 11CB7200          3 14380000
156D4A10: 14380000 153B1DA4 156D4A20 1338A684 156D4A48 132F0B04          2 2A7A9F6F
156D4A30: FFFFFFFF 146CF310 146D0000 14620EE0          0          5 156D4A50 11BAE8C0
156D4A50: 14BAE470 11CODCD0 FFFFFFFF FFFFFFFF

```

```
---- Level 6 Interrupt stack (0x0 bytes used, out of 0x2328 available) ----
```

```
intstacks[6]: base 0x156D0410 stack 0x156D2730 routine 0x0          count 0x0
              size 0x2328      low  0x2328      desc   0x156BED20
```

```
---- Level 7 Interrupt stack (0x0 bytes used, out of 0x2328 available) ----
```

```
intstacks[7]: base 0x156CE0E8 stack 0x156D0408 routine 0x0          count 0x0
              size 0x2328      low  0x2328      desc   0x156BEE74
```

```
---- Level 8 Interrupt stack (base 0x0, size 0x0) is invalid ----
```

```
---- Level 9 Interrupt stack (base 0x0, size 0x0) is invalid ----
```

```
===== Register Memory Dump =====
```

```

Reg00(PC ): 10999E70
Reg01(MSR): 2029230 [Not RAM Addr]
Reg02(CR ): 20004022
Reg03(LR ): 10999E34
Reg04(CTR): 108EC3EC
Reg05(XER):          0 [Not RAM Addr]
Reg06(DAR):          0 [Not RAM Addr]
Reg07(DSISR):         0 [Not RAM Addr]
Reg08(DEC):   83695 [Not RAM Addr]
Reg09(TBU):          2 [Not RAM Addr]
Reg10(TBL): 2A7D42DA
Reg11(IMMR):          0 [Not RAM Addr]
Reg12(R0 ): 10999E34
Reg13(R1 ): 2421F930
Reg14(R2 ):          1E [Not RAM Addr]
Reg15(R3 ): 234BBFD8 [In malloc Block 0x234BBB54] [Last malloc Block 0x234BBB10]
Reg16(R4 ):          A [Not RAM Addr]
Reg17(R5 ):          0 [Not RAM Addr]
Reg18(R6 ): 2421F918
Reg19(R7 ):          0 [Not RAM Addr]
Reg20(R8 ):          0 [Not RAM Addr]
Reg21(R9 ):          0 [Not RAM Addr]
Reg22(R10): 14850000
Reg23(R11): 234BBFD4
Reg24(R12): EB93A100 [Not RAM Addr]
Reg25(R13): B4E9F3F3 [Not RAM Addr]
Reg26(R14): 10CD0984
Reg27(R15):          0 [Not RAM Addr]
Reg28(R16): 156CA504 [In malloc Block 0x156CA2F0]
Reg29(R17): 156CA504
Reg30(R18):          1 [Not RAM Addr]
Reg31(R19):          0 [Not RAM Addr]

```

## Supervisor Engine 6-E および 6L-E のクラッシュ ダンプの表示

```

Reg32 (R20):      0 [Not RAM Addr]
Reg33 (R21):      0 [Not RAM Addr]
Reg34 (R22):      0 [Not RAM Addr]
Reg35 (R23):      0 [Not RAM Addr]
Reg36 (R24):      0 [Not RAM Addr]
Reg37 (R25):      0 [Not RAM Addr]
Reg38 (R26):      0 [Not RAM Addr]
Reg39 (R27):      0 [Not RAM Addr]
Reg40 (R28): 15870804 [In malloc Block 0x158707DC] [Last malloc Block 0x15870790]
Reg41 (R29):      0 [Not RAM Addr]
Reg42 (R30): 14850000
Reg43 (R31):      0 [Not RAM Addr]

```

```
buffer check=0 sched_hc=0x0
```

```
---- block0 ptr=2421F8D0 is_malloc=0 length=0x260 ----
```

```

2421F890:      0      0 15870804      0 14850000 FFFFFFFF 2421F930 107CFC7C
2421F8B0: 2421F8C8 14BB1760      2      0 2421F930 14620E40 24330AB4      4A
2421F8D0:      0      0 2421F8E8 10C1FD9C 2421F8F8      0      0      0
2421F8F0: 15868B74 15868B74 2421F910 117CF5C0 2421F968 1586A45C 2421F920 15868B74
2421F910: 2421F918      0 14850000      0 2421F930 10999978 2421F930      0
2421F930: 2421F940 10999E34 2421F940 15868B74 2421F948 11B430B8 2421F9B0 10C84444
2421F950: 2421F978      0      0      0      0 2421F9C0      0 240CC3C8
2421F970: 2421F990 11AE7394      6 FFFFFFFF      0      0      0 14BE0000
2421F990:      0      0      0      0      1      0 15868B74 15868B74
2421F9B0: 2421F9E8 10C83338      0      0      71 15868B74 156CA328 13794ACD
2421F9D0:      0      1      0 1511A790 2366B680 15868B74 2421FA00 11BE0C5C
2421F9F0: 156CA328 156CA328 2366B680 15868B74 2421FA18 10C93874 2421FA20      0
2421FA10:      0 2366B628 2421FA48 10C93D78 2421FA58 10C95370      0 11BB0A98
2421FA30:      0      0 15868B74      0      0 15868B74 2421FA58 10C94140
2421FA50:      3 15868B74 2421FA70 10C992EC      0      0      0 156CA328
2421FA70: 2421FB08 10CD155C DFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF
2421FA90: FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF
2421FAB0:      1 FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF      0      0      0
2421FAD0:      0      0      0      0      0      0      0      0
2421FAF0:      0      0      0      0      0      0 2421FB10 1099BCFC
2421FB10:      0 10992CEC FFFFFFFF FD0110DF AB1234CD      0      0 1378AC50

```

```
---- block1 ptr=10999E34 is_malloc=0 length=0x13C ----
```

```

10999DF4: 3D2014BE 8009845C 2F800000 419E0010 3D2014BE 806983C4 4800000C 3D201485
10999E14: 80698C20 4927268D 38000000 3D2014BE 90098484 3D201485 90098CAC 4BFFFAB9
10999E34: 2F9F0000 419E0038 3D2014BE 80098498 2F800000 40BE0028 3860FFFE 3C8013CD
10999E54: 3884617C 4BE35D99 2F9F0003 409D0008 3BE00003 1C7F03E8 4909658D 7FE10808
10999E74: 38000000 3D201445 900900E4 80010014 7C0803A6 83E1000C 38210010 4E800020
10999E94: 9421FFF8 7C0802A6 9001000C 7C862378 38832010 38602000 3CA013CD 38A56198
10999EB4: 482E2201 8001000C 7C0803A6 38210008 4E800020 7C681B78 7C6A1B78 39200000
10999ED4: 89630000 2F8B0000 419E0078 380BFF9F 2B800005 40BD0010 380BFFD0 2B800009
10999EF4: 419D0060 552B2036 880A0000 7C000774 2F800039 419D0014 7D2B0214 3929FFD0
10999F14: 394A0001 48000018 892A0000 7D290774 7D2B4A14 3929FFA9 394A0001 896A0000
10999F34: 2F8B0000 419E001C 380BFF9F 2B800005 40BDFFB4 380BFFD0 2B800009 409DFFA8
10999F54: 38600000 7F8A4000 4D9E0020 91250000 91440000 38600001 4E800020

```

```
---- block2 ptr=20004020 is_malloc=0 length=0x100 ----
```

```

20003FE0:  AD BEEF      0      0      0      BEEF      0 7AD BEEF 1F724E78
20004000:  12800      0 1AD BEEF 12216BE8 1BE7FE60      BEEF 1BE7FE70 1813277C
20004020: 1BE7FE78 1253BA98      FE70 FFFFFFFF      3      0 FFFFFFFF FFFFFFFF
20004040: FFFFFFFF FFFFFFFF      10800      0      0 1FFFF 1BE7FF38 11F86C4C
20004060: 180AB988 1BE7FEF8 2027FEE8 FF84BEEF      3      0      0
20004080:      BEEF      0      BEEF      0      0      0      0
200040A0:      0  AD BEEF      0      0      0      BEEF      0 7AD BEEF
200040C0: 1F724E78 12800      0 1AD BEEF 12216BE8 1BE7FE60      BEEF 1BE7FE70

```



```
200040E0: 1813277C 1BE7FE78 1253BA98      FE70 FFFFFFFF      3      0 FFFFFFFF
20004100: FFFFFFFF FFFFFFFF FFFFFFFF      10800      0      0      1FFFF 1BE7FF38
```

```
---- block3 ptr=108EC3EC is_malloc=0 length=0x100 ----
```

```
108EC3AC: 7C0803A6 83E1000C 38210010 4E800020 9421FFF8 7C0802A6 9001000C 2C030000
108EC3CC: 40A2000C 4BFFF7F9 48000008 4BFFF7B9 8001000C 7C0803A6 38210008 4E800020
108EC3EC: 9421FFF8 7C0802A6 9001000C 3D20149A 8009FB08 2F800000 41BE0028 4BFEF791
108EC40C: 3D201485 81299C1C 81290024 7D2903A6 38600000 4E800421 38600000 4BFF0EFD
108EC42C: 8001000C 7C0803A6 38210008 4E800020 9421FFF8 7C0802A6 9001000C 3D20149A
108EC44C: 8009FB08 2F800000 41BE0028 4BFEF741 3D201485 81299C1C 81290024 7D2903A6
108EC46C: 38600000 4E800421 38600000 4BFF0EAD 8001000C 7C0803A6 38210008 4E800020
108EC48C: 9421FFE8 7C0802A6 BF810008 9001001C 7C9C2378 38000000 7C7E1B79 418200B0
108EC4AC: 7FC3F378 492150A5 38000000 7C7D1B79 4182009C 3BE00000 7F9FE800 40BC008C
108EC4CC: 7C9EF8AE 3D201442 8069EDA4 7C840774 49214EFD 2F830000 409E0064 2F9C0000
```

```
---- block4 ptr=234BBB10 is_malloc=1 length=0x100 ----
```

```
234BBAD0: FFFE0000      0 13C9C0B0 107FD290 234BBB10 234BBA24 8000000E      1
234BBAF0:      0 23056294 23054D90 13597D4C      1      0      0 FD0110DF
234BBB10: AB1234CD FFFE0000      0 13D9A594 10027870 234BBB54 234BBAE0 8000000E
234BBB30:      1      0      1      4      0      0      0      0
234BBB50: FD0110DF AB1234CD FFFE0000      0 156CD7F4 119EB018 234BC350 234BBB24
234BBB70: 800003EA      1 119F6768      0 234466EC 234FFE84      0 156CD7B8
234BBB90:      64      77      C000C      0      0      0      0      0
234BBBB0:      30000 14BB1760 52656720 46756E63 74696F6E 20310000 234BBDB8 234BC34C
234BBBD0:      0      0      0 234BBDB8 234BBDC4 234BBDD0 234BBDDC 234BBDE8
234BBBF0: 234BBDF4 234BBE00 234BBE0C 234BBE18 234BBE24 234BBE30 234BBE3C 234BBE48
```

```
---- block5 ptr=15870790 is_malloc=1 length=0x14C ----
```

```
15870750:      0      0      0      0      0      0      0      0
15870770:      0      0      0      0      0      0      0 FD0110DF
15870790: AB1234CD FFFE0000      0 13D9A594 10CA1538 158707DC 1586B958 80000012
158707B0:      1 4928F581      0      1 23C0BED0      0      0      0
158707D0: 1449E540      F FD0110DF AB1234CD FFFE0000      0 13D2B910 10C89680
158707F0: 15870840 158707A4 8000001E      1 38210008 158711F0 13D40DB8      0
15870810: 13D3EC78      0      0      0 10CC65BC      7 144B0254 15870868
15870830: 158708AC      0      0 FD0110DF AB1234CD FFFE0000      0 13D2B91C
15870850: 10C896E8 15870884 158707F0 8000000E      1 7C09002E 158708F0 23F0FB18
15870870:      17      0      0      0 FD0110DF AB1234CD FFFE0000      0
15870890: 13D2B92C 10C8970C 158708C8 15870854 8000000E      1 7D6B4A14 15870980
158708B0: 15871160      8      0      0      0 FD0110DF AB1234CD FFFE0000
158708D0:      0 13D2BA48 10C8BE78
```

```
---- block6 ptr=15870790 is_malloc=1 length=0x100 ----
```

```
15870750:      0      0      0      0      0      0      0      0
15870770:      0      0      0      0      0      0      0 FD0110DF
15870790: AB1234CD FFFE0000      0 13D9A594 10CA1538 158707DC 1586B958 80000012
158707B0:      1 4928F581      0      1 23C0BED0      0      0      0
158707D0: 1449E540      F FD0110DF AB1234CD FFFE0000      0 13D2B910 10C89680
158707F0: 15870840 158707A4 8000001E      1 38210008 158711F0 13D40DB8      0
15870810: 13D3EC78      0      0      0 10CC65BC      7 144B0254 15870868
15870830: 158708AC      0      0 FD0110DF AB1234CD FFFE0000      0 13D2B91C
15870850: 10C896E8 15870884 158707F0 8000000E      1 7C09002E 158708F0 23F0FB18
15870870:      17      0      0      0 FD0110DF AB1234CD FFFE0000      0
```

```
---- block7 ptr=240CC354 is_malloc=1 length=0x14C ----
```

```
240CC314:      2 240CC37C      0      0      0      0      2      0
240CC334:      0      0      0      0      0      0      0 FD0110DF
240CC354: AB1234CD      CD0000 24031228 240CC1F0 1011D6CC 240CC3A0 240CC2F0 80000012
240CC374:      1 D0D0D0D      1      8 10B4FEE8      0      2      4
```

## ■ Supervisor Engine 6-E および 6L-E のクラッシュ ダンプの表示

```

240CC394:      0 10B50054 FD0110DF AB1234CD FFFE0000      0 13D9A594 10C8D690
240CC3B4: 240CC404 240CC368 8000001E      1 10C7DB80      1      40      0
240CC3D4:      1 23553660 10C8D61C      0      0      0      0      0
240CC3F4:      0      0      0 FD0110DF AB1234CD CD0000 24031228 1362B664
240CC414: 10DF2B24 240CEA20 240CC3B4 800012FA      1 D0D0D0D 2416C8DC ABADCAFE
240CC434:      C      C      0      CD 80000000      0      0      0
240CC454:      0      0      0      0      0      0      0      0
240CC474:      0      0      0      0      0      0      0      0
240CC494:      0      0      0

```

```
---- block8 ptr=13794ACC is_malloc=0 length=0x100 ----
```

```

13794A8C: 51522E2E 2E2E2E2E 5C2E5354 55565758 595A2E2E 2E2E2E2E 30313233 34353637
13794AAC: 38392E2E 2E2E2E2E      0 30313233 34353637 38396162 63646566      0
13794ACC: 202020 20202020 20202828 28282820 20202020 20202020 20202020 20202020
13794AEC: 20881010 10101010 10101010 10101010 10040404 4040404 4040410 10101010
13794B0C: 10104141 41414141 1010101 1010101 1010101 1010101 1010101 10101010
13794B2C: 10104242 42424242 2020202 2020202 2020202 2020202 2020202 10101010
13794B4C: 20000000 436F6D6D 756E6963 6174696F 6E206572 726F7220 6F6E2073 656E6400
13794B6C: 546F6F20 6D616E79 206C696E 6B730000 426C6F63 6B206465 76696365 20726571
13794B8C: 75697265 64000000 41726720 6C697374 20746F6F 20626967      0 4E6F2073
13794BAC: 75636820 70726F63 65737300 4E6F7420 6F776E65 72000000 4E6F2073 75636820

```

Log buffer:

```

6:21:19 UTC Mon Sep 6 2010
CMD: 'alias exec cas clear auth sess' 06:21:19 UTC Mon Sep 6 2010
CMD: 'alias exec sas show auth sess' 06:21:19 UTC Mon Sep 6 2010
CMD: 'alias exec cpu show proc cpu | inc CPU' 06:21:19 UTC Mon Sep 6 2010
CMD: 'alias exec si show run int gi6/25' 06:21:19 UTC Mon Sep 6 2010
CMD: 'line con 0' 06:21:19 UTC Mon Sep 6 2010
CMD: 'exec-timeout 0 0' 06:21:19 UTC Mon Sep 6 2010
CMD: ' stopbits 1' 06:21:19 UTC Mon Sep 6 2010
CMD: ' speed 38400' 06:21:19 UTC Mon Sep 6 2010
CMD: 'line vty 0 4' 06:21:19 UTC Mon Sep 6 2010
CMD: 'scheduler runtime netinput 100' 06:21:19 UTC Mon Sep 6 2010
CMD: 'mac address-table static 0023.abf8.3303 vlan 1 interface GigabitEthernet6/15'
06:21:19 UTC Mon Sep 6 2010
CMD: 'end' 06:21:19 UTC Mon Sep 6 2010

*Sep 6 06:21:19.103: %SW_VLAN-6-VTP_DOMAIN_NAME_CHG: VTP domain name changed to campus1.
*Sep 6 06:21:21.779: %SYS-5-CONFIG_I: Configured from memory by console
*Sep 6 06:21:21.875: %SYS-5-RESTART: System restarted --
Cisco IOS Software, Catalyst 4500 L3 Switch Software (cat4500e-ENTSERVICES-M),
Experimental Version 12.2(20100723:074204) [././././././ios/sys 179]
Copyright (c) 1986-2010 by Cisco Systems, Inc.
Compiled Mon 06-Sep-10 22:11 by cisco
*Sep 6 06:21:23.363: Slot 0 : delete
*Sep 6 06:21:23.363: K5SuperportSetConfig:
*Sep 6 06:21:23.363: num of Superports : 4, SuperportIds( 57, 57, 57, 57 )
*Sep 6 06:21:23.363: K5SuperportGroupMode Xauik5PortSpeedType 10G10
*Sep 6 06:21:23.363: K5SuperportConfig:
*Sep 6 06:21:23.363: K5SuperportUsageState Populated, 4K5SuperportManagementProtocol
VsiK5HeaderType K10 SCH Preamble, Max SubportId : 9
*Sep 6 06:21:23.363: num of subports : 1, SubportConfig:
*Sep 6 06:21:23.363: SubportConfig( K5SubportId : 0, PimHwPhyportId : 240 )
*Sep 6 06:21:23.711: %C4K_JOB-4-OVERRUN: (Suppressed 1 times)Job Lj-poll ran 20941
microseconds (its runTimeMax was 2000)
*Sep 6 06:21:23.711: Slot 0 : new
*Sep 6 06:21:23.711: K5SuperportSetConfig:
*Sep 6 06:21:23.711: num of Superports : 4, SuperportIds( 57, 57, 57, 57 )
*Sep 6 06:21:23.711: K5SuperportGroupMode Xauik5PortSpeedType 10G10
*Sep 6 06:21:23.711: K5SuperportConfig:

```

```
*Sep 6 06:21:23.711: K5SuperportUsageState Populated, 3K5SuperportManagementProtocol
VsiK5HeaderType K10 SCH Preamble, Max SubportId : 9
*Sep 6 06:21:23.711: num of subports : 2, SubportConfig:
*Sep 6 06:21:23.711: SubportConfig( K5SubportId : 8, PimHwPhyportId : 242 )
*Sep 6 06:21:23.711: SubportConfig( K5SubportId : 9, PimHwPhyportId : 243 )CMD: 'en'
06:21:56 UTC Mon Sep 6 2010
CMD: 'plat' 06:21:57 UTC Mon Sep 6 2010
CMD: 'platform cr' 06:21:57 UTC Mon Sep 6 2010
CMD: 'platform crashdump d' 06:21:58 UTC Mon Sep 6 2010
CMD: 'platform crashdump ' 06:21:58 UTC Mon Sep 6 2010
```

Supervisor (WS-X45-SUP6-E) Board Specific Crash Data:

```
MCSR: 0x0
L1CSR0: 0x10001 L1CSR1: 0x10001
SRR0: 0x10999e70 CSRR0: 0x0 MCSRR0: 0x0
MCAR: 0x0
ESR: 0x2000000
CISR0: 0x0 CISR1: 0x0
L2CTL: 0xa0000000
L2CAPTDATAHI: 0x0 L2CAPTDATALO: 0x0
L2CAPTECC: 0x0
L2ERRDET: 0x0
L2ERRDIS: 0x0
L2ERRATTR: 0x0
L2ERRADDRH: 0x0L2ERRADDRL: 0x0
L2_ERRCTL: 0x0
DDR_CAPTURE_DATA_HI: 0x0 DDR_CAPTURE_DATA_LO: 0x0
DDR_CAPTURE_ECC: 0x0
DDR_ERR_DETECT: 0x0
DDR_ERR_DISABLE: 0x0
DDR_ERR_INT_EN: 0x9
DDR_CAPTURE_ATTRIBUTES: 0x0
DDR_CAPTURE_ADDRESS: 0x0
DDR_CAPTURE_EXT_ADDRESS: 0x0
DDR_ERR_SBE: 0xff0000
PCI_ERR_DR: 0x0
PCI_ERR_ATTRIB: 0x0
PCI_ERR_ADDR: 0x0
PCI_ERR_EXT_ADDR: 0x0
PCI_ERR_DH: 0x0PCI_ERR_DL: 0x0
Machine Check Interrupt Count: 0
L1 Instruction Cache Parity Errors: 0
L1 Instruction Cache Parity Errors (CPU30): 0
L1 Data Cache Parity Errors: 0
```

Jawa Crash Data:

```
Interrupt Mask: 0xe180
Interrupt: 0x0
```

```
GalK5DriverMan( 0 )
  SlotType( 3 )
  State( GalK5DriverManStateReady )
  SilentRollRegister( 0 )
  GldMajorVersion( 0 )
  CardRevision( 0 )
  GldMinor( 1 )
  Load Dynamic Driver( No )
```

```
GalK5DriverMan( 1 )
  SlotType( 1 )
  State( GalK5DriverManStateReady )
  SilentRollRegister( 0 )
  GldMajorVersion( 0 )
  CardRevision( 0 )
```

## ■ Supervisor Engine 6-E および 6L-E のクラッシュ ダンプの表示

```
GldMinor( 1)  
Load Dynamic Driver( No )
```

```
Switch#
```